

本件は、日産自動車株式会社が自動車産業記者会に、株式会社 J-オイルミルズが農政クラブおよび東商記者クラブに、東京ガス株式会社がエネルギー記者会に、横浜市が横浜市政記者クラブおよび横浜経済記者クラブに、資料配付しています。

2015 年 3 月 19 日

日産自動車横浜工場から J-オイルミルズ横浜工場への 蒸気供給について

～分散型エネルギーシステムの面的利用により、効率的なエネルギー融通を実現～

日 産 自 動 車 株 式 会 社
株 式 会 社 J - オ イ ル ミ ル ズ
東 京 ガ ス 株 式 会 社
株 式 会 社 エ ネ ル ギ ー ア ド バ ン ス
横 浜 市

日産自動車株式会社（社長：カルロス ゴーン、以下「日産自動車」）と株式会社 J-オイルミルズ（社長：榎田 純和、以下「J-オイルミルズ」）と、東京ガス株式会社（社長：広瀬 道明、以下「東京ガス」）の 100%出資子会社である株式会社エネルギーアドバンス（社長：圓角 健一、以下「エネルギーアドバンス」は、このたび、日産自動車横浜工場に設置するコージェネレーションシステム（以下「コージェネ」）の廃熱を回収してつくった蒸気を、J-オイルミルズ横浜工場に供給する契約を締結し、蒸気・給水配管の建設に着工しました。

業種が異なり、かつ敷地も異なる企業の工場間^{*1}において、蒸気を融通することでコージェネの効率を向上し、省エネと CO₂削減を実現する取組みは、東京ガス管内では初めてになります。

日産自動車横浜工場は、エネルギーアドバンスと 2006 年にエネルギーサービス^{*2} 契約を締結し、日産自動車横浜工場 3 地区内にエネルギーアドバンスが設置したコージェネから、電力と蒸気の供給をうけています。今回、日産自動車横浜工場 3 地区内にコージェネを追加設置するにあたり、日産自動車が必要な電力負荷に合わせて容量を選定すると、発電に伴う廃熱を回収してつくった蒸気を使いきれず、コージェネの効率的な運用が望めないという課題がありました。

しかし今回、追加設置したコージェネの蒸気を、熱需要の大きい J-オイルミルズへ供給することで、コージェネの効率を最大化することを可能にします。同時に、分散型エネルギーシステムの面的利用による省エネと CO₂削減を実現します。

今回の蒸気融通により、約 3%の省エネルギー（原油換算 1,400kL/年）^{*3}、約 6%の CO₂ 排出量の削減（5,700t- CO₂/年）^{*3}を図ることができます。

なお、本取組みは、横浜市地球温暖化対策実行計画及び成長分野育成ビジョンにおける「京浜臨海部の企業の連携によるエネルギー融通」を実現するものです。

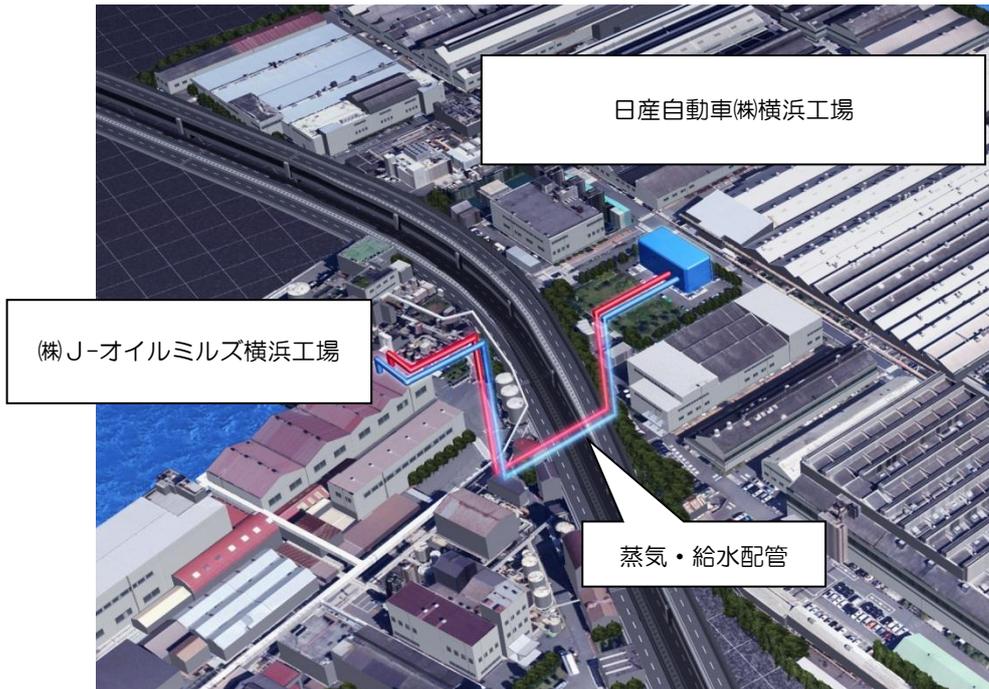
今後も、日産自動車、J-オイルミルズ、東京ガス、エネルギーアドバンスの各社と、横浜市は、それぞれエネルギーの面的利用やコージェネレーションの活用などによる、さらなる省エネ、CO₂削減を図ってまいります。

※1：これまでコンビナートなど同業種の企業間でコージェネから出る蒸気を融通する事例はありましたが、業種が異なり、かつ敷地も異なる企業の工場間において、蒸気を融通する事例は初めてになります。

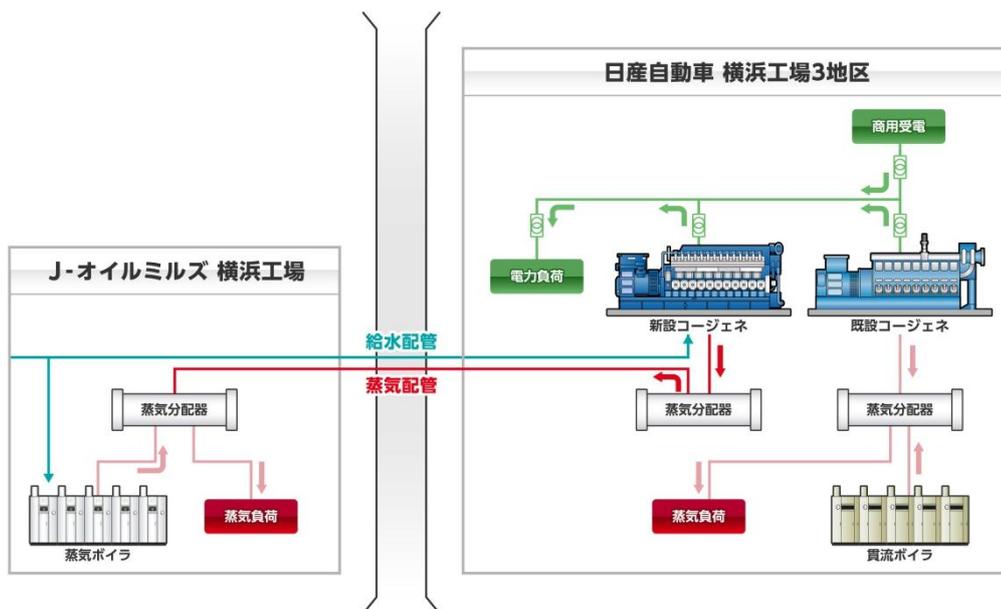
※2：エネルギーサービス事業者が、お客さまの敷地内にコージェネなどの設備を設置・所有し、長期的なメンテナンスを行うことで、お客さまが必要とするユーティリティを効率よく供給するサービス。

※3：2014年度予想値に対する削減率。各種係数については環境省HP（2015年3月現在）記載数値使用。

【位置図】横浜市鶴見区大黒町



【熱の面的利用エネルギーフロー図】



※蒸気配管、コージェネ、蒸気分配器についてはエネルギーアドバンスが資産として所有。

<報道機関からのお問い合わせ先>

日産自動車株式会社 国内企業・商品広報部	TEL：045-523-5521
株式会社J-オイルミルズ 広報・IR推進室	TEL：03-5148-7103
東京ガス株式会社 広報部	TEL：03-5400-7675
株式会社エネルギーアドバンス	TEL：03-6403-0511
横浜市経済局	TEL：045-671-4085
横浜市温暖化対策統括本部	TEL：045-671-2636